

丹波市図書館ビジョンに対するご意見（回答）

No.	項 目	該当箇所	ご意見の概要	ビジョン修正有無	ビジョン該当ページ	ご意見に対する市の考え方
1	協議会委員(当日)意見		小学校との連携をはじめ、中央館・分館の間でなるべくサービス等に格差がないよう運営してほしいと思います。	無		分館方式は丹波市の特徴的な運営だと考えています。図書館基本計画策定時の参考とさせていただきます。
2	協議会委員(当日)意見		分館について「子育て学習センターも併設しているので児童書の貸出数が「比較的多い」とは何と比較して多いのでしょうか。	有	20	主観的な表現であったため削除します。
3	協議会委員(当日)意見		前書きで「こどもまんなか社会」に多く振れているが数値化されたものがありません。教育振興基本計画のために児童・生徒にアンケートが来ているので、何らかの数値を示すことができないのでしょうか。	無		図書館に関する設問がなかったため参考としていません。来年度子ども読書活動推進計画を含む図書館基本計画の策定のため、小中学生を対象にアンケート調査を計画しています。
4	協議会委員(当日)意見		本を必要としている人の身近に本を置く仕組みが必要ではないでしょうか。	無		アウトリーチの手法は重要だと考えています。図書館基本計画策定の参考とさせていただきます。
5	協議会委員(当日)意見		市民ワークショップのような市民が自由に意見を出し合える仕組みを推進体制のところに書けないか。	有	22	ご意見のとおり追記しました。
6	協議会委員意見シート		国の図書館政策について最新の動向について、読書バリアフリー法、著作権法改正に伴うデジタル送信の拡大、コロナ交付金による電子書籍サービスの拡大等にも触れてほしい。	有	9	ご意見のとおり修正しました。
7	協議会委員意見シート		国の第4次教育振興基本計画で図書館に触れている部分に言及してほしい。	有	10	ご意見のとおり修正しました。
8	協議会委員意見シート	丹波市立図書館の現状と課題	図書館サポーターや子ども司書の活動状況について記載してほしい。	有	13	ご意見のとおり修正しました。
9	協議会委員意見シート	(2)市民ワークショップ	10年間のビジョンと考えた場合、日付は年月日で統一して記入するのがよいのではないか。	有	17	ご意見のとおり修正しました。
10	協議会委員意見シート	市民ワークショップで出た意見	設備や空間については、「多目的に楽しめる図書館」、サービス・機能については、「図書館職員のスキルアップや安定雇用」、「図書館の魅力の情報発信」、市民や団体・機関との連携については、「市民企画イベントの実施」、にも触れて頂きたい。	有	17	ご意見のとおり追記しました。
11	協議会委員意見シート	課題整理	1つの文章が長く感じる部分がある。 また、学校図書館支援や市民協働の図書館運営の必要性についても、言及いただきたい。	有	20	ご意見のとおり追記しました。

丹波市図書館ビジョンに対するご意見（回答）

No.	項 目	該当箇所	ご意見の概要	ビジョン修正有無	ビジョン該当ページ	ご意見に対する市の考え方
12	協議会委員意見シート	課題整理	市民会議等の実施による市民協働・市民参画の図書館運営を推進することに触れていただきたい。せめて、運営における視点として、表現していただきたい。	有	22	具体的な会議名称ではなく、市民とともに運営するという言葉を追記しました。
13	協議会委員意見シート	ビジョン全体として	令和6年5月17日総務文教常任委員会において、近藤議員の質問に対して、教育部長が「6館体制のあり方について、10年間のあり方策定の中で検討していく」という趣旨の答弁をしています。 それを踏まえたうえで6館体制のあり方について、「図書館ビジョン」の中で多少は触れるべきだと思っています。10年間のビジョンであるのに、全く触れていないことにやや違和感があります。 具体的なことは書けないとは思いますが、「今後の市内の図書館ネットワークのあり方については、市民に最も身近な社会教育施設であることを踏まえ、これからの図書館サービスのあり方の方向性等を市民参画で検討し、実施していく」というような表現ができないでしょうか。	無		P20に、市の特徴的な運営として分館方式を採用していることを上げており、今後についても地域性を活かした取り組みを期待する主旨で記載しています。 図書館ネットワークについては、前の質問回答のとおり、市民とともに運営するという趣旨があるため、当然市民参画による検討が必要だと考えています。
14	協議会委員意見		「丹波市生涯学習計画」や丹波市の学びについての政策との関連をきちんと書く必要があると思う。 生涯学習の中で何が必要なのか、なぜ図書館の充実なのか、振興なのかを。議会、行政の方に知ってもらう必要がある。 また、子どもたちへの取り組みについても、小さい時から図書館の意義や読書の意味、調べもの学習など、学びの方法や生涯の学びの姿勢など、それに気づく教育が必要なのではと考えて、そこを強調しないと学校教育、学校図書館と公共図書館の連携の話にならない気がする。	無		ご意見のとおり、生涯学習基本計画や教育振興基本計画等との整合を図る必要があることは十分認識しておりますが、両計画とも見直しの時期を迎えており、現段階では具体的な記述は難しいため、P3「上位計画との整合を図る」という表現としています。
15			広報の仕方の改革で、情報発信の仕方を丹波市全体で考えなければならない。一度、情報（紙、放送、電子機器、オンライン）の各媒体でどの程度効果をあげているのか、そういった検証が必要。	無		広報担当部署において、その事業効果についての検証は行っております。今後さらに、必要な情報が市民に届く広報に尽力いたします。
16	1/13WS参加者意見		「こどもまんなか社会の実現」を本気で目指すなら、「学校司書の設置について」必要であること、それを補うための工夫案などの一文をビジョンに描くことが必要。 また、「学校図書館との連携」ときれいな文章でビジョンを作ることは、図書館司書に学校司書がすべき、あらゆる役割を担わせることになり、それは本来ではない。 予算や人員確保の困難さから学校司書を配置できないのなら、学校教育課が巡回学校図書室支援員（専門員）を確保し、複数校を巡回することも可能です。ウェルビーイングの向上を期待して、当面は保護者やボランティアを育成すること等、計画ができないか。	無		本計画はあくまで公立図書館のあり方を検討しているものであり、学校図書館司書の設置に関して言及していませんが、分館方式による地域性を活かした学校との連携は必要だと記載しています。 また、ご意見のとおり、ボランティア養成についても、地域学校協働活動や学校支援の視点からも必要性を感じていますので、今後の施策として参考にさせていただきます。
17			第2章の“第1次丹波市図書館のあり方のふりかえり”を読むと、自己評価ができず、図書館のあるべき機能が発揮されないまま課題として書かれている。 図書館ビジョンは種々の計画に整合性をもたせなくてはならないと明記してある以上、P18の課題整理部分の一番重要な課題は“自己評価の徹底が不十分であったこと”と自己評価見直しから導き出した“適切な対応ができなかった”ことを書かなければならない。“学び”“生かす”ことの体现がビジョンには必要である。	有	5	自己評価にかかる書類の量が膨大になるため、ワークショップではお示しできませんでしたが、ビジョン策定にかかる協議会では、自己評価を行っております。そのうえで、自己評価による課題認識及びアンケート調査、団体ヒアリング、市民ワークショップ等で出された課題を一定整理し、P18の課題整理としていますので、表記はそのままとしますが、第6章において進捗管理と自己評価について記載させていただきます。
18			SDGsの取り組みは、公共図書館運営に関連する。ビジョン内に一考することは必要だと感じる。	有	10	ご意見により追記しました。

丹波市図書館ビジョンに対するご意見（回答）

No.	項 目	該当箇所	ご意見の概要	ビジョン修正有無	ビジョン該当ページ	ご意見に対する市の考え方
19	1/13WS 参加者意見		第2章、「…低いことが課題」「…できていませんでした」「今後の課題です」等と積極的・否定的な言葉が多く、読んだ人に与える印象がどうか。	無		成果と課題を自己評価として記載していますので、この表記のままとします。
20	1/13WS 参加者意見		少子高齢化に伴う人口減少は、将来の丹波市の行政サービスにおいても大きな影響があると思う。今回の「市民協働で運営するみんなの図書館」でも「欲しい暮らしは自分で創る」精神のもと、もっと市民参画を促してほしい。	無		今後の図書館運営の参考にさせていただきます。
21	1/13WS 参加者意見		一、素案の5章「丹波市立図書館のめざす方向性」2丹波市立図書館の運営方針について 運営方針の1と6が同じです（市民の暮らしや活動に役立つ、地域の情報拠点としての図書館）。運営方針6に別の文言が入るのではないか。	有	21	ご意見のとおり修正しました。
22			二、12ページ市民の意見・アンケート調査 「開館時間の延長」「利用目的が違う人が狭い空間にいてお互い落ち着かない」に非常に共感する。 さらに、図書館利用者の交通手段確保も課題と思う。小学生のときは、図書館が小学校区外のためひとりでは行くことができなかった。分館が多いとはいえ、旧町も広い。図書館利用者の交通手段確保も丹波市の課題のひとつと思う。 来てもらうことが難しいなら、図書館がアウトブックモービルの運行や、小学生が授業の一環で図書館に来て、団体貸し出しを行うといった、定期的な図書館相互利用の機会があっても良いのではとも思う。	無		今後、図書館基本計画策定時において具体的な施策の展開の参考とさせていただきます。
23			二、12ページ市民の意見・アンケート調査 「開館時間の延長」「利用目的が違う人が狭い空間にいてお互い落ち着かない」に非常に共感する。 さらに、図書館利用者の交通手段確保も課題と思う。小学生のときは、図書館が小学校区外のためひとりでは行くことができなかった。分館が多いとはいえ、旧町も広い。図書館利用者の交通手段確保も丹波市の課題のひとつと思う。 来てもらうことが難しいなら、図書館がアウトブックモービルの運行や、小学生が授業の一環で図書館に来て、団体貸し出しを行うといった、定期的な図書館相互利用の機会があっても良いのではとも思う。 また、中・高校になると、18時まで開館では十分な利用できなかった。静かにしたい人、そうでもない人、話したい人、たくさんの方が来るにはあまりにも設備が狭いと思う。 休館せずにイベントができるスペースがあればと思う。	無		今後、図書館基本計画策定時において具体的な施策の展開の参考とさせていただきます。
24			図書館年報、条例、規則を示さないのはなぜか。	無		条例、規則については、資料編として掲載する予定です。

丹波市図書館ビジョンに対するご意見（回答）

No.	項 目	該当箇所	ご意見の概要	ビジョン修正有無	ビジョン該当ページ	ご意見に対する市の考え方
25	1/13WS 参加者意見		P4 インターネットを活用しない方に対して、積極的な広報活動はできていたのか疑問。市の広報だけでなく、図書館員それぞれや、関わりのある市民にもお願いしながらそれぞれの近所の方や友人知人にチラシを配るなどの広報もあると環境や機運が盛り上がっていくのではないかと。	無		市ホームページ、各種SNS、市広報、防災無線を通じて広報していましたが、関連イベントや他部署イベントでの広報、図書館サポーターとの連携による広報も検討してまいります。今後、図書館基本計画策定時において具体的な施策の展開の参考とさせていただきます。
26			レファレンスは、困ったことや課題解決の相談のようだが、何ができるのか、これまでの事例や、他市の事例など、こんなこともできるという提示の案内があると利用する方が出てくるのではと思う。 市職員や議員にも案内し、活用されることを期待する。	無		今後、図書館基本計画策定時において具体的な施策の展開の参考とさせていただきます。
27			気軽に寄れる、普段利用していなくても行きやすい図書館を目指して、図書館活動をされる方にはフリーの部屋を場づくりとして、一般の方にはおしゃべり可のスペースを設けられるといいと思う。	無		今後、図書館基本計画策定時において具体的な施策の展開の参考とさせていただきます。
28			中高生が読みたくなるマンガ本がたくさんあると、図書館利用も増えるのではと思う。PRも大切。	無		今後、図書館基本計画策定時において具体的な施策の展開の参考とさせていただきます。
29			不登校の子も図書館に来ることから始められる、何もしなくてもいい安心な第3の居場所になるといい。出かける場所があるのはとても救われると思う。	無		不登校児童・生徒に対する居場所づくり等支援に関して、教育委員会としての方針や方向性を検討する必要があると考えます。
30			こども読書活動の推進で、家庭教育支援とあるが、図書館でも気軽に子育て講座等あるといいと思う。	無		今後、図書館基本計画策定時において具体的な施策の展開の参考とさせていただきます。
31			基本理念の「みんなの図書館」という言葉がとても大事でいいと思う。知の拠点であり、まちづくりの拠点にもなっていくといいと思う。	無		ご意見ありがとうございます。
32			基本理念も様々な活動・事業も、情報発信が何よりも重要。	無		市ホームページ、各種SNS、市広報、防災無線を通じて広報していましたが、関連イベントや他部署イベントでの広報、図書館サポーターとの連携による広報も検討してまいります。今後、図書館基本計画策定時において具体的な施策の展開の参考とさせていただきます。